

経済情報さっぽろ

2013年 新春号 No.161



2013年 商売繁盛を祈願して 「初ぜり式」開催!

平成25年1月5日(土)、札幌市中央卸売市場では、約2,000人の市場関係者が参加し、水産物・青果それぞれで「初ぜり式」が開催されました。

「初ぜり式」では、上田市長のあいさつの後、業界関係者の発声による三本締めが行われ、威勢の良いせり人の掛け声とともに、今年初のせりが行われ、安全・安心な生鮮食料品が次々と競り落とされました。

CONTENTS

| | |
|----------------------------------|---|
| 2013年 商売繁盛を祈願して「初ぜり式」開催! | 1 |
| 年頭のごあいさつ 札幌市長 上田文雄 | 2 |
| 年頭のごあいさつ 北洋銀行 取締役頭取 石井純二 | 3 |
| 札幌スタイル認証製品の紹介 | 4 |
| 平成24年度産業経済功労者・優良工場等表彰式 | 4 |
| フード特区の取組 | 5 |
| 商店街学生アイデアコンテスト・学生ITアイデアコンテスト | 5 |
| 情報BOX | 6 |
| がんばれ!札幌の企業 | 7 |
| スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業紹介③ | 7 |
| データで見る! さっぽろ経済の動き | 8 |
| 中小企業経営セミナー | 8 |
| 「さっぽろの産業2012」・「さっぽろ中小企業支援ナビ」のご紹介 | 8 |



年頭のごあいさつ (平成二十五年)

札幌市長 上田文雄



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年は、エネルギー転換に向けて、市民の皆さんと市役所が、新しいライフスタイルについて考え、一丸となって行動していく、そうした札幌の「市民力」の素晴らしさを、あらためて実感できた一年でした。電力需要が最も高まる冬を迎えましたが、本当に多くの市民や事業者の皆さんが、引き続き高い意識を持って節電に取り組んでおられることに対して、心から敬意を表させていただきます。市としても、今後も全庁を挙げてできる限りの節電に努めてまいります。

今年、私が市長になって十年が経過しますが、これからの札幌は、少子高齢化を背景とした人口減少という、いまだ経験したことのない時代に突入します。こうした時代の転換期にあっても、世界に誇る魅力的なまち札幌を、より良い形で次の世代へ引き継いでいくため、市では今後十年間のまちづくりの指針となる「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を、今年完成させます。私は、将来の展望を描くことが難しい時代にこそ、市民の皆さんと目指すべき札幌の姿を共に考え、悩み、行動していく「市民自治」がより一層重要になってくると考えています。そうした思いから、これまでに市民会議やワークショップなどを通して多くの方々との議論を重ねてまいりました。その結果を踏まえ、このビジョンでは、「北海道の未来を創造し、世界が憧れるまち」「互いに手を携え、心豊かにつながる共生のまち」の二つを将来の都市像として掲げる予定です。今年は、この新たな都市像を実現するために、皆さんと知恵を出し合いながら、力強くまちづくりに取り組んでまいります。

一昨年の東日本大震災は、自然災害の恐ろしさ、そして、原子力発電が決して安全ではないことを、私たちにあらためて認識させる契機になりました。私は、札幌が将来にわたって安心して暮らせるまちであるためには、原発に依存しない社会を実現することは避けて通れないと考えております。そのため、省エネ型のライフスタイルの定着に向けた取り組みと太陽光などの再生可能エネルギーの積極的な活用を力を入れていきます。また、防災の面からは、地域防災計画に原子力災害への対策を新たに盛り込むほか、避難場所基本計画を策定し、避難場所の整備や備蓄物資の増強を進めるなど、災害への備えを一層強化してまいります。

そして、誰もが安心して暮らせるまちにするために、地域や事業者と連携して高齢者などの見守りや安否確認の活動を充実させるなど、地域で支え合う人と人との関係づくりを支援してまいります。さらに、待機児童の解消に向けて保育所の定員を拡大するとともに、子育て家庭を支援する場である子育てサロンの常設化を進めるなど、子どもを生み育てやすい環境づくりに取り組んでまいります。

私は、文化芸術がもたらす感動が、人々の創造的な活動へとつながり、新たなまちの魅力や産業を生み出す原動力になると考え、「創造都市さっぽろ」の取り組みを進めております。その象徴的な事業として、世界最先端の文化芸術を身近に感じられる「札幌国際芸術祭」を来年初めて開催するために、本格的に準備を進めてまいります。また、「ユネスコ創造都市ネットワーク」への加盟に向けて取り組み、国際的水準の創造都市を目指します。

そうした創造性の力を産業に生かし、経済の活性化を促すことにも力を注いでまいります。特に、昨年から本格的に動き始めた「札幌コンテンツ特区」では、映像を通じて札幌の魅力を国内外に発信する機会をより一層増やしていく一方、「北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区」では、北海道の優れた食の付加価値をさらに高める工夫をし、東アジアの食産業の拠点を目指してまいります。いずれも、自然や食、観光といった札幌・北海道の強みを生かすものであり、道都として北海道全体の発展につなげたいと考えております。

また、都市としての新たな魅力とにぎわいをつくるために、路面電車では、乗降しやすくデザイン性に優れた新型低床車両を今年導入するほか、西4丁目とすすきの間を結ぶループ化の平成26年度内完成に向けて精力的に取り組んでまいります。さらに、ICカード「サピカ」のバス・路面電車での共通利用を開始し、公共交通の利便性をさらに高めてまいります。

昨年6月には、関係者の皆さんの努力が実を結び、長年の悲願であった北海道新幹線の札幌延伸が認可されました。新幹線で札幌と東北がつながることにより、新たな経済圏と文化を育む大きな力になるものと期待しております。今後は、新幹線の早期開業を目指すとともに、これを見据えた札幌駅周辺のまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

札幌はいま、大きな転換期を迎えています。私は「市民の皆さんと共に考え、共に悩み、共に行動する」ことで、新しい時代を切り開き、より満足度の高い幸せを感じられるまちを実現できると確信しています。これまで皆さんと共に培ってきた市民自治の取り組みをより確かなものとし、札幌に住む皆さんが未来にわたって笑顔で輝き続けられるよう、全力で取り組んでまいります。

どうか本年も、多くの市民の皆さんに市政へ参加していただきたく、ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



スピードと変化への対応力が求められる 道内経済（平成二十五年）

株式会社北洋銀行 取締役頭取 石井 純 二

新年あけましておめでとうございます。この冬は、「節電の冬」ということで、皆様におかれましては、例年とは少し違った新年を迎えられたことと思います。年頭にあたりまして、昨年を振り返るとともに本年の北海道経済を展望したいと思っております。

2012年を振り返って

昨年の道内経済は、震災の影響が薄れるとともに、ゆるやかに持ち直しましたが、後半には国内経済減速の影響を受け、幾分足踏み感も見られました。国内・国外からの観光客は、国内LCC（格安航空会社）の新千歳空港就航や台北便、バンコク便等の国際定期便の就航が追い風となり、年央以降は震災前水準を上回って推移しました。乗用車販売は、エコカー補助金の効果により前半は好調に推移し、政策終了後も概ね前年並みを維持しました。住宅投資は貸家を中心に増加し、公共投資は新幹線<新青森―新函館（仮称）間>関連工事がピークを迎えたこともあって増加基調で推移しました。この結果、当行では24年度の実質成長率は0.3%、名目成長率は0.1%と見込んでおります。

昨年の明るいニュースとしては、6月の北海道新幹線の札幌延伸正式認可が挙げられます。これは私たち道民にとりまして正に長年の悲願でした。開業後は、単に移動時間が短縮し利便性が高まるだけでなく、人の流れや生活スタイルが変わることで、ビジネスチャンスが広がるでしょう。

スポーツ界においても、ロンドンオリンピックでの道産子選手たちの活躍などうれしいニュースがありました。熊谷紗希選手（札幌市出身）、高瀬愛実選手（北見市出身）の女子サッカー「なでしこジャパン」は銀メダル、柔道の上野順恵選手（旭川市出身）は銅メダルを獲得しました。3月には中学3年生（当時）の高梨沙羅選手（上川町出身）がスキージャンプのワールドカップで初優勝するなど、女性アスリートの活躍が目立った1年でした。

また、プロ野球・北海道日本ハムファイターズの3年ぶりのリーグ優勝も記憶に新しいところです。日本シリーズではジャイアンツに敗れましたが、その戦いぶりは、道民に元気と感動を与えてくれました。話題の花巻東高校・大谷翔平選手の入団も決まり、今年も北海道を熱くさせてくれることでしょう。

2013年の北海道経済展望

次に、本年の北海道経済についてですが、当行は昨年12月に『平成25年度北海道経済見通し』を発表し、その中で実質成長率0.6%、名目成長率0.4%と予測しております。本年は、来年春の消費税増税を意識した駆け込み需要が生じ、住宅投資や耐久消費財の売れ行きが好調に推移するでしょう。需要項目別にみますと、個人消費は慎重な消費マインドに変わりないことに加え、政策支援により家電や乗用車の需要がある程度前倒しされているため、駆け込み需要はさほど大きな伸びにはつながらないとみております。住宅投資においては、持ち家や分譲住宅の駆け込み需要が顕著となるでしょう。設備投資は医療・福祉施設の新増設に加え、再生可能エネルギーによる発電事業が活発化するでしょう。公共投資は、基調としては予算削減傾向にあり、新幹線関連もピークを過ぎることから、減少するでしょう。観光関連では、国際定期便の拡充を背景とした台湾やタイからの観光客が好調を維持することに加え、徐々に中国人観光客も回復するであろうとみております。

以上のように小幅なプラス成長を予測しておりましたところ、新政権誕生により、10兆円程度の補正予算が組まれる見込みになり、当行予測を上回る成長率が期待されます。

札幌コンテンツ特区に期待

札幌市は平成23年12月に「札幌コンテンツ特区」に指定され、映像産業の振興を通じた地域活性化に取り組んでいるところですが、今年5月に、すすきのを舞台とした映画『探偵はBARにいる2』が公開されます。前作の評価が高く、多くのファンが続編を望んでいましたし、前作の撮影で使われた飲食店などは既に観光スポットになっています。札幌のご当地映画として、今から封切りが楽しみです。

スピードと変化への対応力が重要

東日本大震災以降、日本経済は大きく変化しました。再生可能エネルギーへの期待がいっそう高まり、また火力発電用の燃料の輸入増加から貿易赤字が定着しつつあります。更に今年は、政権交代によって、これまでとは異なる政策が打ち出されるでしょう。このように経済環境は絶えず変化しておりますが、私たちはその変化に適応し続けなければなりません。現在のように、めまぐるしく状況が変わる時代においては、従来にも増して「スピード」と「変化への対応力」が重要になります。私どもも社会情勢や経済環境の変化への感度を高め、スピーディーかつ柔軟な発想で、地域社会に貢献して参りたいと思っております。

最後になりましたが、皆様のご健康とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



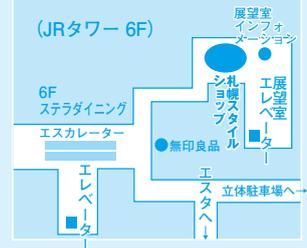
札幌スタイル認証製品を紹介します。 木の葉コースター



販売元 札幌クローバー会

価格 1,600 円

買える場所 札幌スタイルショップ
(北5西2 JRタワーイースト
6階展望室入口) 等で
好評発売中。



端材を利用し、寄せ木で葉脈などの風合いを出したコースター。
平成24年度後期に新たに札幌スタイル認証製品に仲間入りしました。

「札幌スタイル」とは

札幌市が認証している地域ブランドです。札幌の暮らしから生み出された札幌らしい製品を認証し、市内企業のものづくりを支援しています。
詳細は札幌スタイル公式ホームページをご覧ください。http://www.sapporostyle.jp/

平成24年度 札幌市産業経済功労者表彰

「札幌市産業経済功労者表彰」は、長年にわたって、札幌の産業経済の振興・発展に多大な貢献をされた方の功績をたたえるものです。
今年度は、産業経済功労者表彰を含め、4つの市長表彰式を合同で行う「さっぽろ市民表彰式・記念コンサート」として、11月19日（月）に札幌市教育文化会館で開催しました。産業経済功労者は、次の5名の方々です。（50音順）



かわち あきお
川地 秋雄さん
札幌タイル煉瓦工事組合 組合長
(有)川地タイル工業所 代表取締役



ささき としたか
佐々木 利隆さん
札幌市商店街振興組合連合会 常任理事
琴似商店街振興組合 副理事長
不動産賃貸業



ながむま あきお
長沼 昭夫さん
(社)北海道洋菓子協会 会長
(株)きのとや 代表取締役社長



なかむら かずまさ
中村 憲正さん
札幌商工会議所 議員
北盛電設(株) 取締役会長



もりた たけお
森田 武夫さん
札幌商工会議所 常議員
(株)北友 代表取締役



平成24年度 札幌市優良工場等表彰

11月26日（月）、市内商工業の振興を奨励するため、特に優良な工場、店舗、協同組合、その従業員などを表彰する「札幌市優良工場等表彰式」が札幌パークホテルで行われ、5団体、13個人の方が受賞されました。

工場の部 (1件)
カヤノ鉄工(株) (札幌市西区)

店舗の部 (3件)
(有)秀花園環状通東店 (札幌市東区)
(有)なかやま生花中央卸売市場店 (札幌市中央区)
(株)まるそう (札幌市豊平区)

協同組合等の部 (1件)
事業協同組合札幌個人タクシー協会 (札幌市中央区)

工場従業員の部 (4名)
太田 博美さん (株)生出建具製作所
齋藤 修さん (大東印刷(株))
細川 靖宏さん (株)アーティクル
渡辺 一二さん (株)ヒロミ産業

店舗従業員の部 (4名)
井淵 朝雄さん (株)二辻商店
戸塚 守さん (株)神田芳雄商店
牧野 義弘さん (青池水産(株))
最上 浩一さん (株)サカイ

組合等職員の部 (2名)
川村 比路子さん (栄町中央商店街振興組合)
竹内 勝美さん (札幌碎石共販協同組合)

技能指導者の部 (3名)
河合 利幸さん (有)テクノセフティ
高木 茂光さん (株)セーフティステップ
宮田 直樹さん (株)宮田組石工



【表彰に係るお問い合わせ先】 札幌市経済局産業振興部経済企画課 TEL 011-211-2352

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）の取組

平成23年12月、道内の3エリア（札幌・江別、函館・帯広・十勝）は我が国で唯一の「食」に関する国際戦略総合特区に指定されました。

フード特区では、食料供給基地である北海道の優位性を活かし、生産から販売までの各分野からなる強固な食のバリューチェーン（価値連鎖）を形成することで、「食品の輸出拡大」や「食料自給率の向上」に貢献するための様々な取組を進めています。

●フード特区の主な取組の例

| 項目 | 概要 | 具体的な取組み事例 |
|---------|--|--|
| 規制の特例措置 | 特区事業を進める際に支障となっている規制等の緩和を求めることができる | 【食品機能性表示制度の見直し】 商品パッケージに、食品の機能性に関する研究が行われていることを表示できる認定制度を創設することが認められた |
| 税制・金融支援 | 【税制支援】 特区事業の実施に必要な機械、建物等を取得した場合の投資税額控除、特別償却等 【金融支援】 特区事業の実施に必要な借入れを行う場合の金利負担の軽減 | 【札幌市内食品製造業者の認定】 洋菓子の輸出増加に資する施設整備を行う企業が税制支援の認定を受けた 海外向け商品の企画・開発等のため、店舗併設型の社屋を整備する企業が金融支援の認定を受けた |



●フード特区事業へのご参画・課題解決へのお手伝い

特区事業への参画を検討する事業者様に対し、上記の優遇措置の活用をお手伝いするほか、研究開発、試作・実証、販路拡大などの課題解決・目的達成の支援をしています。詳しくは、札幌市経済局または、「北海道食産業総合振興機構（フード特区機構）」にご相談ください。

【お問い合わせ先】 札幌市経済局産業振興部ものづくり産業課 TEL 011-211-2379
(一社)北海道食産業総合振興機構 TEL 011-200-7000

商店街活性化に向けた学生アイデアコンテストを開催しました！

札幌市では、「商店街再生事業（商学連携事業）」の一環として、学生の豊かなアイデアを発掘するために、学生アイデアコンテストを開催しました。本コンテストには11アイデアの応募があり、下記のアイデアが、グランプリ、準グランプリを受賞しました。受賞した2つのアイデアについては、今後事業化に向けて、商店街と協議を重ねていきます。

グランプリ

北海学園大学 学生団体 Be-harmony

想定商店街 平岸中央商店街

アイデアタイトル 「平岸 GOGO プロジェクト」

アイデア概要

地域の魅力発掘と情報発信をはじめとして、イベントの実施やタクシー会社と連携した交通の利便性向上など、学生が商店街に足を運ぶ仕掛けを学生のプロデュースによって展開する。

準グランプリ

藤女子大学 栄養教育学研究室

想定商店街 麻生商店街

アイデアタイトル 「コミュニティーハウス作り」

アイデア概要

商店街にひとり親家庭の子どもたちの居場所となる拠点をつくり、学生たちが学習支援や栄養学に基づいたメニューづくりを行ったり、課外活動として店主による講座や商店街での体験学習を行う。



【お問い合わせ先】
札幌市経済局産業振興部
産業振興課
TEL 011-211-2372

さっぽろ学生 IT アイデアコンテスト 2012 を開催しました！

小さなころからインターネットや携帯電話、スマートフォン等のITに慣れ親しんでいる若い世代から、ITを活用したアイデアを募集するコンテストを開催しました。本コンテストには19アイデアの応募があり、その中から1次選考を通過した10アイデアの応募学生たちが最終プレゼンテーションを行い、市内IT企業による審査を経て、下記のとおり、最優秀賞、優秀賞が決定しました。

最優秀賞

MindHorizon 思考の集う場所 北海道大学大学院 辻 順平さん、山内 翔さん

アイデア概要

次世代のホワイトボードをIT技術で実現。メモを取るように手書きで入力ができ、クラウドサービスを利用して複数人で情報を共有することも可能。様々な階層に分けて情報を保存でき、検索をかければ情報の呼び出しもできる、そのような「場所」を提供するソフト。

優秀賞

こっちだよ。「さっちゃり MAP」 札幌市立大学 正木 裕子さん

人材評価の新たな指標「PaaP」 北海道大学大学院 星川 尚久さん

節電普及アプリ「エコ・プラネット」 札幌東海大学 泊 佳歩さん



【お問い合わせ先】
(財) さっぽろ産業振興財団
札幌市エレクトロニクスセンター 担当：岩田
TEL 011-807-6000

情報BOX

「いい人材がいたら採用したい」とお考えの事業主の皆様へ ～職場実習事業を活用して良い人材の採用へつなげませんか？～

札幌市が実施している「Skipさっぽろ」では、正社員またはフルタイムでの就職を希望する人に対して、資格取得や職場実習を活用しながら就職支援を行っております。

職場実習は「良い人がいれば採用したい」、「若い人を採用したいが不安」と考えている企業様や、「興味はあるが、応募するかどうか迷っている」という求職者様に好評をいただいております。

求人をご検討されている企業様は、この実習期間を実習生の適性を見極めていただくとともに、実習生に業務を理解していただく機会としてご活用ください。

職場実習の3つのメリット

①採用候補者の適性を、本採用前に判断できます。

5～20日間の実習期間を設けることで、適性を見極めたうえで採否を決定することができます。実習終了後は、双方の希望に合わせてマッチングを進めます。

②実務経験の少ない若年層を採用したい場合に、特に効果的です。

若年層を採用したい場合、適性があるかどうか、すぐ辞めてしまうのではないかなど、不安になることはありませんか？

職場実習は、仕事の現場での見極めが可能なので、企業と求職者双方のミスマッチを防ぐことが可能です。

③職場実習は「無料」で活用することができます。

実習受入れ企業様には、協力謝金として一人につき一日あたり3,500円をお支払いいたします。

また、実習参加者には、Skipさっぽろから実習費として1日2,500円が支給されます。実習参加者と企業様は雇用契約等を結ぶ必要がなく、実習生の傷害保険、賠償責任保険についても、Skipさっぽろで加入します。

～職場実習を活用した人材の採用にご興味をお持ちいただきましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。～

【お問い合わせ先】 Skipさっぽろ 受託事業者 株式会社東京リーガルマインド（札幌市就業サポートセンター）
求人開拓室 TEL 011-218-1527

採用意欲のある企業を紹介するサイト「お仕事なう」を開設しました!!

このたび、札幌市では、市内の採用意欲のある中小企業等（以下「企業」という。）の企業情報を紹介するサイト「お仕事なう」を開設しました。本サイトの開設により、求人企業が自社の業務内容に加えて、画像により職場の雰囲気伝えることが可能となり、就職希望者に対して、より一層効果的な企業PRができます。

企業情報を掲載できる企業は、札幌市内に事業所があり、かつ、札幌市就業サポートセンターへ正社員の求人を出している企業です。「お仕事なう」への掲載は無料です。正社員求人をご検討の際は、是非、「お仕事なう」への掲載についてもご検討ください。

掲載をご希望の際は、札幌市が委託した下記事業者にご連絡ください。また、詳細についてご不明な点は、下記お問い合わせ先へご連絡ください。

お仕事なう（URL：<http://www.sapporo-sc.jp/now/>）

【受託事業者名】 キャリアバンク株式会社
TEL 011-251-4510
株式会社東京リーガルマインド
TEL 011-218-1527

【お問い合わせ先】
札幌市経済局雇用推進部雇用推進課
TEL 011-211-2278

北海道漬物類組合が設立されました～安心で安全な漬物製造のために～

平成24年8月に発生した白菜浅漬による腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒を受けて、道内の漬物業者が「北海道漬物類組合」を設立しました。発生から間もない9月25日に設立された同組合は、北日本フード（株）代表取締役会長の酒井信男氏が会長を務め、漬物類の需要基盤の拡大や製造技術の向上・人材育成に努め、安全で安心できる漬物を創出することを目的に活動しています。



北海道漬物類組合会長 酒井信男氏

北海道漬物類組合会長の酒井氏より

昨年8月札幌で発生した白菜浅漬による集団食中毒で、道内の消費者の皆様方、監督官庁、関係団体の方々に多大なご迷惑をおかけいたしましたことに心から深くお詫び申し上げます。

平成24年10月12日に厚生労働省が「漬物の衛生規範」を改正したことを受け、組合では2度とこのような事故が再発しないよう、関係機関のご指導を得て、「非加熱食品業界の危機管理セミナー」や「やさしい！！漬物製造の殺菌処理研修会」を実施し、組合会員の衛生管理に対する基礎知識の向上を目指して努力をいたしているところです。今年も各種研修会を開催して、更なる衛生管理の徹底に組合一丸となつてつとめてまいりますので、今後とも皆様方のご支援、ご指導を心からお願いを申し上げます。

【お問い合わせ先】 北海道漬物類組合
TEL 011-241-6447

がんばれ!! 札幌の企業

第11回 | 株式会社 特殊衣料

代表取締役社長 池田 啓子

住所：札幌市西区発寒 14 条 14 丁目 2 番 40 号
TEL：011-663-0761（代表）



2012 年度グッドデザイン賞を受賞した「abonet+JARI」

雪国さっぽろならではのニーズから生まれた保護帽「アボネット」

株式会社特殊衣料は、介護用の福祉用具や頭部保護帽など、福祉・医療にかかわる衣料を製造・販売している企業です。2000年、産学官連携の「福祉用具のデザイン開発・研究プロジェクト」の発足を経て、「凍結路面での転倒を保護できないか」という様々な市民の声に応え、保護帽「アボネット」の開発がスタートし商品化されました。「アボネット」は札幌スタイル認証製品として、デザインも豊富で、あらゆるシーンに商品ラインを展開するまでに至っています。

「アボネット」の安全性をさらに追求、2012年度グッドデザイン賞を受賞

「アボネット」は、製造部門を特殊衣料が、広告や商品のプロダクトデザインを札幌市立大学が担当し、研究・開発されてきました。さらに緩衝力と快適性を兼ね備えた商品の開発に衝突安全試験を行う研究機関・一般財団法人日本自動車研究所（JARI）との共同開発に取り組み、「abonet+JARI（アボネット・ジャリ）」を商品化。2012年度のグッドデザイン賞を受賞しました。

「アボネット」としては12年前から2度目の受賞となりました。池田社長は、電力会社の検針員の制帽として採用されるなど、これからも日常から業務に至るまで、様々なシーンで利用できる機能性・デザイン性を追求してますます進化させていくということです。



取材に応じて頂いた池田社長

スタートアップ・プロジェクトルーム入居企業紹介 30

株式会社クリエイティブネクストデザイン

「"Designing The Future"（未来をデザインしていこう!!）」

株式会社クリエイティブネクストデザインは、平成23年12月に代表者の進藤氏が、実際の現場レベル（放送・通信・ITなど）で抱える様々な問題点やニーズをハードウェアとソフトウェアの技術を駆使して、顧客のニーズにあった製品やシステムを実現したいという想いから創業されました。

進藤氏は、マイクロコンピュータを使用した製品の開発や放送・通信システムの設計に25年以上携わっており、業界内で利用される機器やシステムの詳細を十分に把握しています。また、テレビ放送のデジタル化ではシステム開発のプロジェクトリーダーとしてエンジニアを取りまとめた実績もお持ちの方です。

同社の特徴としては、きめ細やかなサービスとニーズを先取りした独自の製品開発力で大手メーカーでは真似のできない研究開発型の企業だということです。

さらに同社の掲げる目標として『アイデアをカタチにして、夢を実現させる』というビジョンは、新たなビジネスを創出する架け橋として、幅広い分野・地域での展開を目指しています。

今後、同社の事業展開としては、現在、システム設計を行う上で、必ず



直面する課題として挙げられるのが「省配線システム」です。省配線システムとは、機器間を結ぶ信号線を効率よく接続し、中継機器や工事費を最小限に抑えるための方法で、近年ではシステムのネットワーク化が進み、様々な情報（映像・音声・データなど）をネットワークで伝送する手法がとられています。この省配線システムを効率的に利用できるようネットワーク技術を応用し、制御信号を一般的なネットワークケーブルを利用してリアルタイムに伝達する“データリンクモジュール”の開発を進めています。今まで面倒だった配線をデータリンクモジュールとネットワークケーブルを利用することで信頼性や自由度の高いシステムを構築することが可能になるとのことです。

スタートアップ・プロジェクトルームに入居すると、経営診断で助言してもらえたり、助成金等の相談にのってもらえるので、大変助かると話します。

進藤氏から最後に次のようなメッセージで締めくくって頂きました。「新サービスや新製品の開発などで悩まれている問題などがありましたら、お気軽にお問合せ下さい。アイデアと経験で様々な課題を解決し、皆様のお役に立てることをお約束致します。」

代表取締役 進藤 大輔

〒003-0005
札幌市白石区東札幌5条1丁目1番1号
札幌市産業振興センター3階
電話：070-5603-7268
FAX：011-896-7875
HP：http://creativenext-design.jimdo.com/



スタートアップ・プロジェクト ルームとは？

札幌市産業振興センターの3Fに設置しているインキュベーション（起業支援）施設です。新たな技術やビジネスモデルを持つ意欲あふれる個人や中小企業を対象に低廉な費用で部屋を提供するとともに、さまざまな支援策により企業の成長をバックアップします。入居企業は年に4回募集しています。次回募集は、平成25年2月中旬の予定です。詳しくは産業振興センターへお問い合わせください（8ページ参照）。

データで見る！さっぽろ経済の動き

統計データの一部から最近の札幌経済の動きをご紹介します

最近の札幌経済は、雇用情勢や観光客数で持ち直しの動きが続いておりますが、その一方で、個人消費は概ね横ばい傾向となっており、全体としては、持ち直しの動きに足踏み感が見られます。

【来道客数の推移（北海道）】



<資料> (社)北海道観光振興機構

【大型小売店販売額推移（札幌市）】



<資料> 北海道経済産業局

その他、統計情報について詳しくは、札幌市経済局ホームページ「データで見る！さっぽろ経済の動き」をご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/jyouhou/data/index.html>



データで見る！
さっぽろ経済の動き

中小企業経営セミナー

産業振興センターの
中小企業経営セミナーを
ご利用ください。

ホームページ (<http://seminar.sapporosansin.jp>) からもお申し込みできます。

2013年3月中小企業経営セミナー（1月11日午前9:00より受付）

| コース | 内容 | 実施日 | 時間 | 定員 | 受講料 |
|--------------------------------|--|--------------------|------------|-----|--------|
| 第21回創業希望者・独立開業希望者支援セミナー（土曜コース） | 起業の「あいうえお」、経営者としての準備 | 3月2日（土） | 9:30～12:00 | 20名 | 2,000円 |
| ユーモアセンスも問われる！成功できるプレゼンテーション術！ | 外国文化と日本魂を融合させた流暢な日本語と意表をつくプレゼン術はみもの！ | 3月5日（火） | 9:30～16:30 | 36名 | 5,000円 |
| 第22回創業希望者・独立開業希望者支援セミナー（土曜コース） | 販路・顧客開拓手法（セールスプロモーション） | 3月9日（土） | 9:30～12:00 | 20名 | 2,000円 |
| 確実に成果につながる！営業力強化研修 | プレゼンテーションやロールプレイング等の実践的な内容を盛り込み、成果につながる営業パーソンを目指します。 | 3月12日（火） | 9:30～16:30 | 36名 | 5,000円 |
| 第23回創業希望者・独立開業希望者支援セミナー（土曜コース） | 資金調達（創業資金・各種助成金） | 3月16日（土） | 9:30～12:00 | 20名 | 2,000円 |
| 第24回創業希望者・独立開業希望者支援セミナー（土曜コース） | 設立手続の実際と留意点（個人事業主&会社法人） | 3月23日（土） | 9:30～12:00 | 20名 | 2,000円 |
| 敬意が基本！フレッシュマンセミナー2日間 | ビジネスシーンでの振舞い・処し方を学び意識転換を図ります。 | 3月27日（水） 28日（木） | 9:30～16:30 | 60名 | 8,000円 |
| 第25回創業希望者・独立開業希望者支援セミナー（土曜コース） | 事業計画書の作成方法 | 3月30日（土） | 9:30～12:00 | 20名 | 2,000円 |

札幌市産業振興センター
【お申し込み先】 札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 地下鉄東西線 東札幌駅1番出口徒歩7分
電話 011-820-3122 FAX 011-820-3220 <http://www.sapporosansin.jp>

「さっぽろの産業2012」のご紹介



札幌市内の産業の現状・実態・課題等を、広く市民や企業の皆さまに把握していただくための冊子「さっぽろの産業2012」を作成しました。区役所に配架しているほか、札幌市経済局のホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。
(URL <http://www.city.sapporo.jp/keizai/top/joho/sapporonosangyo2012.html>)

【お問い合わせ先】 札幌市経済局産業振興部経済企画課
TEL 011-211-2352

「さっぽろ中小企業支援ナビ」のご紹介



札幌市内の中小企業支援機関が有する各種支援メニューを中小企業に広く有効に活用してもらうため、市内の中小企業への支援策をまとめた「さっぽろ中小企業支援ナビ」を作成しました。さっぽろ産業振興財団などで配布しています。平成25年1月及び3月に中小企業向けのセミナーの開催も予定しています。

【お問い合わせ先】 (財) さっぽろ産業振興財団
TEL 011-200-5511